

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成 30 年度第 3 回坂戸市健康なまちづくり審議会
開 催 日 時	平成 30 年 11 月 16 日 13:30～14:50
開 催 場 所	坂戸市立中央公民館 集会室
会 長 の 氏 名	金子 嘉徳
出席者（委員）の 氏名・出席者	清水 要 川崎 剛 山王丸 靖子 金子 嘉徳 真殿 仁美 重松 博 亀田 康好 小田島 京子 青木 繁 松本 勝
欠席者（委員）の 氏名・欠席者	太田 正久 田中 久子 弓削多 洋一
傍 聴 者 数	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	市民健康部長 細野 英也 次長兼市民生活課長 楠本 圭司 市民生活課副課長 福島 隆明 市民生活課健康政策担当課長補佐 片野 恵理 市民生活課健康政策担当主任 佐藤 千絵 市民健康部副参与兼市民健康センター所長 関口 万須美 市民健康センター成人保健担当係長 戸谷 敬子
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 審議事項 （1）坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版（素案）について （2）その他 4 閉会
配 布 資 料	資料 1 第 2 次坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版（素案）
	議事の経過
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事 務 局	平成 30 年度第 3 回坂戸市健康なまちづくり審議会を開会します。（出席者 10 名、欠席者 3 名、坂戸市健康なまちづくり審議会条例第 6 条第 2 項の規定により会議は成立）
事 務 局	審議事項（1）説明
会 長	何か質問がありますか。
委 員	P11 上段の文言ですが、坂戸市と埼玉県を比較しているという旨の文言にした方が良いです。
事 務 局	平成 24 年から平成 29 年までの比較を行っています。この 6 年間で増加しているという意味です。24 年から 29 年を比較しているというニュアンスの文言を盛り込みます。
委 員	市は、受動喫煙についてどう考えますか。
事 務 局	市としては、現段階では国の方針に従います。東京都では現在、先進的な方針を打ち出していますが、市ではまだ議論が不十分な状況です。ただ、受動喫煙対策については、1 つの自治体だけで実施していても無理があるので、近隣の状況や県がどのように考えているのかを情報収集し

		ながら検討していきます。	
委	員	計画のなかに「かかりつけ歯科医」という文言が入っていますが、この文言は、患者と医師の両者がしっかりした関係のものだと認識していますが、どうお考えですか。	
事	務	局	定期的に通うことやホームドクターという意味で捉えています。
委	員	一方的に通っているだけでは、かかりつけ医にはならないのではないのでしょうか。「かかりつけ」という文言は曖昧です。	
委	員	文言の捉え方の問題です。医師の視点からは、来院する患者さんは基本的には拒みませんが、設備等の問題で自分では出来ない治療もあります。かかりつけ医に関して、特に明確な規定があるわけではありませんし、言葉の問題かなと思います。	
委	員	患者と医師間のそれぞれの認識によるのではないのでしょうか。	
事	務	局	患者と医師の信頼関係が構築できるような意味合いで示しています。
委	員	逆に1人の患者さんを1人の医師が抱え込んでしまうと、病気を見落とししてしまう可能性もあります。 P44に地域活動とありますが、具体的にはどのようなものですか。	
事	務	局	明確な定義を設けているわけではありませんが、区・自治会活動やサークル活動、グループ活動等、広い意味でのものを指しています。
委	員	活動についてですが、他市を例にとると、活動の数を増やすことと、公共交通を整備することを連動させています。移動の手段はどう考えていますか。	
事	務	局	現在市内では、バスが1路線、ワゴンが6路線あります。出来るだけ市民の移動手段確保ということで、公共交通の空白地域をつくらないようにしています。駅周辺に来ていただいて、周辺で動いていただくことを想定しています。 また、高齢化が進行しており、運転免許を返納される人が増加しています。それらの人を対象にバスの回数券や無料券を配布しています。
委	員	4mm以上の歯周病というのは、どのようなことなのかですか。	
委	員	歯周病は歯ぐきの病気と認識されていますが、骨の病気です。進行した歯周病4mmというのは進行した歯周病の目安となります。	
会	長	文言やレイアウトの検討をお願いします。他に全体についての質問はありますか。	
委	員	昨今、取り沙汰されている「食品ロス」についての記述がありません。次期計画策定の時には、今よりも重要視されているのではないかと考えますが、いかがでしょうか。	
事	務	局	環境政策課が策定した廃棄物の計画の中に、盛り込まれています。本計画においては、書き方を今後検討します。
委	員	医科と歯科の連携をうまくとっている例もあるので、そのような取組も検討してください。	
会	長	ここで山玉丸先生の作成された資料をご覧ください。	
委	員	資料をご覧ください。いただいたデータから解析をしました。データの向きを変えたり、変数を変えたりして操作しました。ここにあ	

	<p>る項目は、基本理念に注目して係数をだしました。</p> <p>ここからみえることは、当たり前のことかもしれませんが、健康だと思っている人は幸せだと思っているということがわかりました。</p> <p>また、注目したいのが「助け合える環境が身近にありますか」です。</p> <p>P35、P36にあるように、外出して、人と関連を持っている人は健康であるということです。</p> <p>では、具体的にどのようにして外出と施策を紐づけていくかという、サロン活動等が良いと考えました。</p> <p>今後、外出していない人をどのようにして外出を促していくかや、サロン活動をポイント制にして検討していったらよいのではないかと考えました。</p>
事務局	<p>詳細な解析ありがとうございました。市としても様々な取組の検討を行っていきます。</p>
事務局	<p>審議事項（2）説明</p>
事務局	<p>11月26日（月）まで、素案への意見を受け付けますので、何かありましたら市民生活課まで意見をお願いします。第4回審議会は2019年2月18日（月）PM1：30～となります。</p>
会長	<p>以上で、本日の審議事項は全て終了したので、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>長時間ありがとうございました。以上をもちまして第3回坂戸市健康なまちづくり審議会を閉会します。ありがとうございました。</p>